

# ACD2DRV(C) ACD3DRV(C)



Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

## AutoCAD を利用した変換ソフト Raster 出力(KDdriver 出力対応)

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056

横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル

TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501

URL：<https://www.kernelcomputer.co.jp>

### 特長

1. AutoCAD(標準版)を利用して、AutoCAD データ (DXF, DWG) をラスターに変換します。AutoCAD(標準版)から弊社プリンタドライバ KDdriver\_long for Windows に直接印刷することで、精度の高い変換結果が得られます。
2. モデル空間、ペーパー空間共に変換可能です。
3. AutoCAD データに貼り付けられたイメージデータや OFFICE 等の OLE データもそのまま変換可能です。
4. 出力フォーマットがマルチページに対応している場合は、シングルページとマルチページの選択が可能です。
5. 元の図面サイズを反映して変換できます。この場合は、図面にページ設定をしておく必要があります。
6. ダイアログアプリケーション(GUI)としてもバッチアプリケーション(CUI)としてもご利用できます。
7. バッチ変換による連続実行が可能です。
8. 変換時に、図面のスタイルに設定されているフォントがサポートファイルに存在するかチェックを行えます。
9. 標準版以外の AutoCAD 製品(AutoCAD Mechanical 等)が同時にインストールされている共存環境での動作も確認できております。(標準版を利用した動作のみの確認となっています。)
10. レイヤーの表示・非表示を設定することが可能です。
11. A 系列以外のカスタム用紙サイズ名を変換時に指定することが可能です。
12. ACD2DRV, ACD2DRVC, ACD3DRV, ACD3DRVC は、それぞれ ACD2RS, ACD2RSC, ACD3RS, ACD3RSC の上位製品であり、各製品の機能が使用可能です。

#### 主な編集機能

- (1) シングルページ/マルチページ変換、縮尺/回転/原点移動
- (2) モノクロ/カラー変換
- (3) 長尺変換

#### 注意事項

本アプリケーションを使用するには Autodesk 社製品の AutoCAD(標準版)が必要です。

AutoCAD Mechanical 版には対応していませんが、AutoCAD Mechanical をインストールする際に同時にインストールされる標準の AutoCAD を使用しての変換は可能です。

#### 対応 AutoCAD

AutoCAD 2010, AutoCAD 2011, AutoCAD 2012, AutoCAD 2013, AutoCAD 2014, AutoCAD 2015, AutoCAD 2016  
AutoCAD 2017, AutoCAD 2018, AutoCAD 2019, AutoCAD 2020

### 対応 OS

Windows 7 / Windows 8 / Windows 10

- ・使用する AutoCAD の対応 OS によって異なります。
- ・ACD\*DRV や ACD\*DRVC は KDdriver\_long for Windows を使用します。OS に依存した処理を行うため OS ごとに製品が異なります。なお、KDdriver\_long for Windows は ACD\*DRV(C) に付属しておりますので、別途購入する必要はありません。

## 標準価格

- |   |               |
|---|---------------|
| (1) AutoCAD / Raster (2 値) 変換 (ACD2DRV)           | : 45 万円 (税抜き) |
| (2) AutoCAD / Raster (2 値/カラー) 変換 (ACD2DRVC)      | : 50 万円 (税抜き) |
| (3) AutoCAD / Raster (2 値) 変換 (長尺) (ACD3DRV)      | : 55 万円 (税抜き) |
| (4) AutoCAD / Raster (2 値/カラー) 変換 (長尺) (ACD3DRVC) | : 60 万円 (税抜き) |

## 基本画面

### ◆ ファイル設定

The screenshot displays the 'acd' software interface with the 'ファイル設定' (File Settings) tab selected. The interface includes fields for input and output file names, a checkbox for '出力用紙サイズ毎に格納先を選択' (Select storage destination for each output paper size), and buttons for '格納先選択' (Select storage destination) and '参照ボタン' (Reference button). A callout box points to the '参照ボタン' with the text '参照ボタン(ファイルダイアログで指定)'. Another callout box points to the '格納先選択' button with the text '出力用紙サイズごとに格納先選択 変換結果を用紙サイズごとに別のフォルダに振り分けることが可能です。' (Select storage destination for each output paper size. Conversion results can be distributed to different folders for each paper size.)

**入力ファイル名  
出力ファイル名  
ログファイル名  
XML ログファイル名**

**参照ボタン(ファイルダイアログで指定)**

**出力用紙サイズごとに格納先選択  
変換結果を用紙サイズごとに別の  
フォルダに振り分けることが可能  
です。**

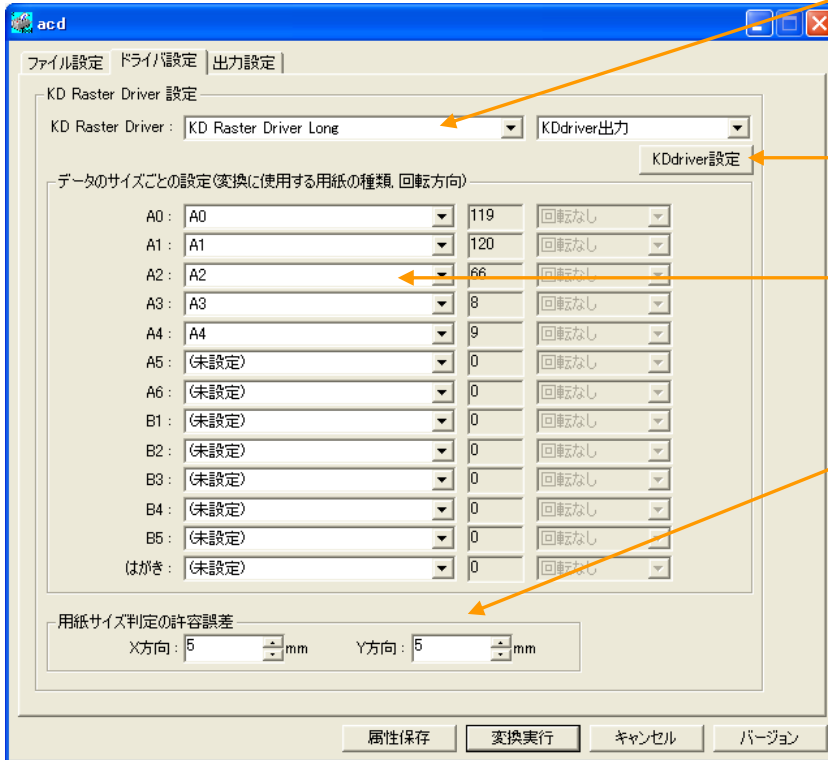
**出力用紙サイズ毎の格納先**

A0:	C:\Program Files\KDCConvert\outA0	...
A1:	C:\Program Files\KDCConvert\outA1	...
A2:	C:\Program Files\KDCConvert\outA2	...
A3:	C:\Program Files\KDCConvert\outA3	...
A4:	C:\Program Files\KDCConvert\outA4	...
A5:		...
A6:		...
A0L:		...
A1L:		...
A2L:		...
A3L:		...
A4L:		...
B1:		...
B2:		...
B3:		...
B4:		...
B5:		...

**出力用紙サイズごとの格納先選択**  
「格納先選択」ボタンを押すと右のダイアログが表示されます。  
用紙サイズごとの格納先フォルダを選択します。参照ボタンからの指定も可能です。

属性保存 変換実行 キャンセル パージ OK キャンセル

◆ ドライバ設定



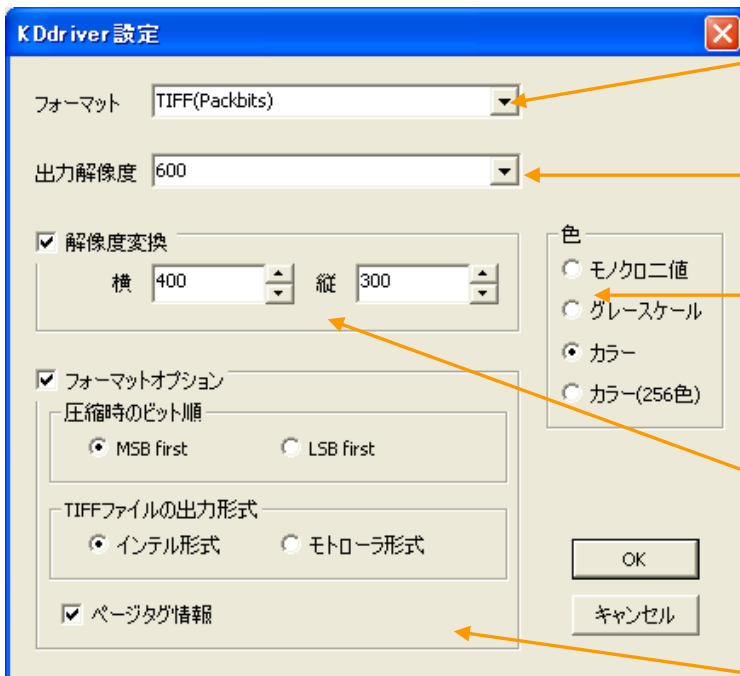
**KD Raster ドライバ名**  
KD Raster ドライバを選択します。

**KDdriver 設定ボタン**  
KDdriver の印刷設定を変更します。

**用紙**  
データの用紙サイズごとに、実際に印刷に使用する用紙を指定します。

**用紙サイズ判定の許容誤差**  
用紙サイズを判定する際の許容誤差を設定します。

◆ KDdriver 設定



**出力フォーマット**  
出力フォーマットを指定します。ACD2DRVC と ACD3DRVC のみ、カラーフォーマットが選択可能です。

**出力解像度**  
印刷解像度を指定します。

**色**  
出力するラスターデータの色を設定します。ACD2DRVC と ACD3DRVC のみ設定可能です。

**解像度変換**  
[出力解像度]で印刷されたラスターの色を変換します。横・縦それぞれの方向に任意の値が指定可能です。

**フォーマットオプション**  
出力するフォーマットに関する設定を変更します。

## ◆ 出力設定

The screenshot shows the 'Output Settings' dialog box with several callout boxes pointing to specific options:

- 出力対象空間指定**  
変換対象をモデル空間とするか、ペーパー空間とするかを指定します。
- 印刷領域指定**  
印刷領域に「図面範囲」、「窓」、「オブジェクト範囲」のいずれかを指定します。
- 印刷オフセット**  
印刷オフセットの「印刷の中心」を指定します。デフォルトで指定されています。
- 印刷尺度**  
印刷尺度を設定します。元データに設定されている印刷尺度の使用も可能です。
- レイヤー表示非表示設定**  
レイヤーの表示非表示を設定したテキストファイルを指定します。
- 窓設定**  
各レイアウトに最大 8 個の窓が指定できます。

## 主な制限事項

- ◆ モデル空間とペーパー空間のページ設定で用紙サイズを選択(ページ設定)してください。
- ◆ 変換中に AutoCAD 画面が表示されますが、**オペレーティングを行わないでください**。  
正常に変換が行われない場合があります。  
もし、オペレーティングを行い AutoCAD が終了されなかった場合、特に問題はありませんが  
手動で AutoCAD を終了させてください。また、**非表示の状態ではまっている場合**もありますので、  
その場合は**タスクマネージャから AutoCAD を終了**してください。
- ◆ **AutoCAD LT では動作しません**。
- ◆ パラメータは大文字、小文字どちらでも指定できますが、全角文字は使えません。  
また、パラメータとファイル名、ドライバ名等の間に空白を入れないでください。
- ◆ 「窓」の範囲はレイアウトごとに指定可能です。レイアウト 1 つにつき最大 8 件まで指定できます。
- ◆ サービス上での動作には対応していません。
- ◆ 本製品は処理時に“通常使うプリンタ”を変更します。本製品使用時には印刷処理を行わないようにしてください。
- ◆ AutoCAD 上でカラー表示される図面をモノクロフォーマットに変換する場合に、カラーの部分が  
印刷結果に反映されないことがあります。そのような場合は、印刷時の色をモノクロに制御するように  
設定された印刷スタイルテーブル (Monochrome.ctb など) を使用することで解決することがあります。